

行政事業レビューシート (厚生労働省)

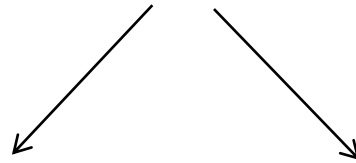
予算事業名	エイズ患者遺族等相談事業	事業開始年度	平成9年度～	作成責任者		
担当部局	医薬食品局	担当課室	総務課医薬品副作用被害対策室	室長 横幕 章人		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①エイズ患者遺族等相談事業 ・血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等の精神的な苦痛の緩和を図る。 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業 ・ヒト乾燥硬膜によるクロイツフェルト・ヤコブ病により家族を亡くした遺族等に対する精神的な苦痛の緩和を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①エイズ患者遺族等相談事業(補助率10/10) ・血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等を行う。 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業(補助率10/10) ・ヒト乾燥硬膜によるクロイツフェルト・ヤコブ病により家族を亡くした遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等を行う。					
実施状況	①エイズ患者遺族等相談事業 ・平成21年度の遺族等相談事業における相談件数は、1,062件 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業 ・平成21年度の生活支援相談事業における相談件数は、286件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	92	95	94	96	96
	執行額	88	91	94		
	執行率	96%	96%	100%		
	総事業費(執行ベース)	88	91	94		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	・補助金の交付先である財団法人友愛福祉財団からの実績報告書により、執行状況を確認している。				
	見直しの余地	①エイズ患者遺族等相談事業 ・HIV訴訟原告団と大臣の協議(平成8年9月)を踏まえ、国の責務として実施している事業であり、国費支出の削減は困難である。 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業 ・平成14年3月の裁判上の和解を踏まえ、国の責務として実施している事業であり、国費支出の削減は困難である。				
予算・監視の・所見率化	血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等に対する相談事業等に必要経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省
94百万円
・補助金の支出



【補助】(補助率10/10)

A. (財)友愛福祉財団
91百万円



【随意契約】

B. ①はばたき福祉事業団 38百万円
②大阪HIV薬害訴訟原告団 38百万円

・遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等

【随意契約】

C. ヤコブ病サポートネットワーク
14百万円

・遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (財)友愛福祉財団			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	手引書作成に係る印刷製本費等	1			
計		1	計		0
B. ①はばたき福祉事業団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	業務運営に必要な消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	23			
謝金	相談員等への謝金	10			
委員等旅費	相談員等への旅費	3			
計		36	計		0
C. ヤコブ病サポートネットワーク			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	相談員等への謝金	6			
委員等旅費	相談員等への旅費	4			
事務費	業務運営に必要な消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等	4			
計		14	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0